

# 第73回セメント技術大会

## ～ プログラム ～

日時：	2019年5月8日(水)	9：00～17：00	研究発表
		13：00～14：30	基調講演
	9日(木)	9：15～12：30	研究発表
		13：30～15：00	論文賞表彰式
		15：30～17：00	特別講演
		17：15～18：45	懇談会
	10日(金)	9：00～16：00	研究発表

会場： ホテルメトロポリタン

参加費： 無料（受付にて入場確認をさせていただきます）

講演要旨： 印刷版・CD-ROM版：各 定価5,130円（本体4,750円＋税380円）

書籍とCDをセットでお求めの場合は定価8,208円（本体7,600円＋税608円）

※大会終了日までは特別価格にて販売いたします（書店でお求めの場合は定価となります）

【印刷版・CD-ROM版：各5,000円（税込み）、セット8,000円（税込み）】

なお、前記の価格のほかに、別途に送料（実費）がかかります。

4月下旬発行予定

※本大会は土木学会認定CPDプログラムです

## 一般社団法人 セメント協会

東京都中央区日本橋本町1丁目9番4号

☎ 103-0023 TEL. 03-5200-5051

研究所

東京都北区豊島4丁目17番33号

☎ 114-0003 TEL. 03-3914-2692（技術情報グループ）

# 第73回セメント技術大会 研究発表スケジュールおよび司会者一覧

〔敬称略〕

開催日	会場	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	
大会 1日目 5月8日 (水)	第1会場 富士A		分析技術 (5件) No.1101~1105 日本大学 佐藤 正己 住友大阪セメント(株) 清水 準	休憩		クリンカー・鉱物、 セメントの水和 (5件) No.1106~1110 東京大学 高橋 佑弥 住友大阪セメント(株) 狩野 和弘		昼休み (60分)		基調講演		休憩	C-S-Hの長期安定性 (4件) No.1111~1114 島根大学 新 大軌 太平洋セメント(株) 細川 佳史	休憩	C-S-Hの長期安定性 (4件) No.1115~1118 新潟大学 斎藤 豪 (株)アイ・シイ 二戸 信和								
	第2会場 富士BC		混和材 (6件) No.1201~1206 大成建設(株) 大脇 英司 宇部興産(株) 石田 剛朗	休憩	混和材、化学混和剤、骨材 (5件) No.1207~1211 電力中央研究所 蔵重 勲 宇部興産(株) 大崎 雅史		昼休み (60分)																
	第3会場 富士D		塩害・鋼材腐食 (5件) No.1301~1305 海上・港湾・航空技術研究所 川端 雄一郎 宇部興産(株) 玉滝 浩司	休憩	塩害・鋼材腐食 (4件) No.1306~1309 東京都市大学 佐藤 幸恵 住友大阪セメント(株) 山本 誠		昼休み (75分)							休憩	凍結融解 (4件) No.1310~1313 東京理科大学 今本 啓一 宇部興産(株) 大和 功一郎	休憩	流動性、 高流動コンクリート (4件) No.1314~1317 BASFジャパン(株) 井元 晴文 宇部興産(株) 高橋 恵輔						
大会 2日目 5月9日 (木)	第1会場 富士A		環境・リサイクル (5件) No.2101~2105 前橋工科大学 佐川 孝広 三菱マテリアル(株) 高橋 智彦	休憩	環境・リサイクル、 製造技術 (5件) No.2106~2110 広島大学 河合 研至 宇部興産(株) 丸屋 英二		昼休み (会場設営)			セメント協会 会長挨拶 論文賞表彰式 論文賞受賞者記念講演		休憩	特別講演										
	第2会場 富士BC		特殊コンクリート (5件) No.2201~2205 横浜国立大学 細田 暁 住友大阪セメント(株) 中島 有一	休憩	コンクリート舗装 (5件) No.2206~2210 首都大学東京 上野 敦 太平洋セメント(株) 兵頭 彦次																		
	第3会場 富士D		中性化、ASR (5件) No.2301~2305 九州工業大学 合田 寛基 (株)太平洋コンサルタント 小川 彰一	休憩	委員会 報告 セメント系 固材材 技術専門 委員会 セメント系固材材 (6件) No.2306~2311 海上・港湾・航空技術研究所 高橋英紀 三菱マテリアル(株) 清田 正人																		懇談会
大会 3日目 5月10日 (金)	第1会場 カシオペア		混合材、セメント系補修材 (5件) No.3101~3105 東京大学 酒井 雄也 住友大阪セメント(株) 西 元央	休憩	混合セメント (5件) No.3106~3110 東京工業大学 松澤 一輝 セメント協会 早川 友幸		昼休み (75分)			混合セメント (5件) No.3111~3115 芝浦工業大学 伊代田 岳史 (株)トクヤマ 茶林 敬司		休憩	コンクリートの施工、 コンクリート製品 (4件) No.3116~3119 デンカ(株) 森 泰一郎 三菱マテリアル(株) 木村 祥平										
	第2会場 朝日		セメント、モルタルの性質と物性 (5件) No.3201~3205 日本大学 梅村 靖弘 宇部興産(株) 伊藤 貴康	休憩	セメント、モルタルの性質と物性 (6件) No.3206~3211 日本大学 三五 弘之 (株)トクヤマ 新見 龍男		昼休み (60分)		膨張・収縮、ひび割れ、 クリープ、物性一般 (6件) No.3212~3217 三菱マテリアル(株) 桜田 道博 日鉄高炉セメント(株) 大塚 勇介		休憩	化学的浸食・溶脱 (3件) No.3218~3220 東京理科大学 加藤 佳孝 太平洋セメント(株) 黒川 大亮											
	第3会場 光		セメント系新材料 (6件) No.3301~3306 日本大学 大宅 淳一 (株)トクヤマ 国居 新	休憩	コンクリートの診断・補修 (6件) No.3307~3312 芝浦工業大学 濱崎 仁 三菱マテリアル(株) 高原 幸之助		昼休み (60分)		耐久性一般 (6件) No.3313~3318 東京理科大学 清原 千鶴 太平洋セメント(株) 森 寛晃														

- 備考 (1) 時間帯は、概略の時刻を示しております。発表は、1件当たり4分間の質疑応答を含め、14分間の予定です。  
 (2) それぞれのセッションのテーマ名は、発表内容の概要を示したもので、プログラム編成上の都合により、発表内容と一致しない場合があります。  
 (3) 本プログラムは、申込書の記載事項をもとに作成しています。

5月8日(水)

## 第1会場

注：○印は講演者、\*印は「セメント協会研究奨励金」関連研究を示す

### 9:15~10:30 分析技術

〔研究発表 1101~1105〕

#### 1101. 参照強度比を基準に用いた粉末X線回折/Rietveld解析によるセメント中の非晶質相の定量

株式会社リガク 大 淵 敦 司  
○葛 卷 貴 大  
中 村 利 廣

#### 1102. タイル接着用モルタル表層における吸水調整材検出方法の検討 (その3)

株式会社太平洋コンサルタント ○沢 木 大 介  
澤 田 佳 奈

#### 1103. 低相対圧下の吸着測定によるトバモライト構造に関する考察

旭化成ホームズ株式会社 ○松 井 久仁雄

#### 1104. 長期高温作用を受けたセメント硬化体の固体<sup>29</sup>Si-、<sup>27</sup>Al-NMRによる分析

電力中央研究所 ○蔵 重 勲  
旭化成株式会社 名 雪 三 依  
旭化成ホームズ株式会社 松 井 久仁雄

#### 1105. 長期高温作用を受けたセメント硬化体の窒素および水蒸気の吸脱着特性

電力中央研究所 ○蔵 重 勲

## 第2会場

### 9:00~10:30 混和材

〔研究発表 1201~1206〕

#### \*1201. 各種セメント—膨張材の乾燥収縮特性と水和反応

前橋工科大学 ○佐 川 孝 広  
中 野 日 加里

#### 1202. 高炉セメント—膨張材系のマス養生下での体積変化と水和挙動

前橋工科大学 ○豊 田 拓 真  
佐 川 孝 広

#### 1203. 微細構造に着目したコンクリートの疲労耐久性におよぼす混和材の影響

山口大学大学院 ○井 上 駿  
吉 武 勇

#### 1204. C-S-H系硬化促進剤によるコンクリート中の空隙改質メカニズムの解明

芝浦工業大学 ○深 澤 英 将  
BASFジャパン株式会社 杉 山 知 巳  
芝浦工業大学 伊代田 岳 史

#### 1205. セメントペースト中の超吸水性ポリマーの吸水能の推定

金沢大学大学院 ○山 下 総 司  
金沢大学 五十嵐 心 一

#### 1206. 再生砕石や廃棄鉄道用バラストを活用したプレパックドコンクリートの検討

芝浦工業大学 ○澁 谷 亜 香 里  
大 塚 朝 陽  
伊代田 岳 史

〈休憩 10:30~10:45〉

〈休憩 10:30~10:45〉

<b>第3会場</b>
-------------

**9：15～10：30 塩害・鋼材腐食**

〔研究発表 1301～1305〕

**1301. 異なるセメントを用いたRC部材の鉄筋腐食に及ぼす雨水の影響**

宮崎大学	○中 島 直 輝
	李 春 鶴

**1302. 塩素固定化混和材および膨張材を混和したコンクリートの塩分拡散挙動**

デンカ株式会社	○伊 藤 慎 也
芝浦工業大学大学院	保 利 彰 宏
芝浦工業大学	中 村 絢 也
	伊代田 岳 史

**1303. 長期間の環境作用と異なる亜硝酸リチウムの量がRC部材の鉄筋腐食に及ぼす影響**

宮崎大学	○宮 崎 泰 斗
極東興和株式会社	李 春 鶴
井上建設株式会社	江 良 和 徳
	峯 松 昇 司

**1304. セメント硬化体内の液間電位差が塩化物イオンの移動に与える影響を把握するための実験手法の提案**

東京理科大学大学院	○池 添 弘 規
東京理科大学	橋 本 永 手
	加 藤 佳 孝

**1305. 無機材料を添加したコンクリートにおける養生期間が塩化物イオン浸透へ与える影響**

芝浦工業大学大学院	○中 村 絢 也
芝浦工業大学	秋 元 勇 人
デンカ株式会社	伊 藤 慎 也
芝浦工業大学	伊代田 岳 史

〈休憩 10：30～10：45〉

5月8日(水)

第1会場

10:45~12:00 クリンカー鉱物、セメントの水和  
〔研究発表 1106~1110〕

1106.  $C_{11}A_7CaF_2$ 高含有クリンカのクリンカ組成と物性に関する考察

住友大阪セメント株式会社 ○菊池定人  
狩野和弘  
上河内貴

1107. 浮遊選鉱法により改質したフライアッシュを用いたセメントペーストの水和反応と養生温度の検討

北九州市立大学大学院 ○小野本憲人  
北九州市立大学 高巢幸二  
小山田英弘  
陶山裕樹

1108. フライアッシュセメントにおけるフライアッシュ反応層の観測およびシミュレーションによる推定

東京工業大学 ○相川豊  
梅津真見子  
松澤一輝  
坂井悦郎

1109. 一度水和したセメントの再水和挙動とその特性の把握

芝浦工業大学大学院 ○中西縁  
芝浦工業大学 宮崎幹太  
三和石産株式会社 大川憲  
芝浦工業大学 伊代田岳史

1110. 錯体重合法によるC-S-Hの合成と高比表面積 $\beta$ - $C_2S$ の作製およびその水和性状に関する検討

新潟大学大学院 ○井川義貴  
新潟大学 斎藤豪  
新潟大学大学院 藤木一  
太平洋セメント株式会社 細川佳史

〈昼休み 12:00~13:00〉

第2会場

10:45~12:00 混和材、化学混和剤、骨材  
〔研究発表 1207~1211〕

1207. 海洋環境に曝露したフライアッシュコンクリートにおける塩分浸透と中性化との複合劣化

電源開発株式会社 ○石川嘉崇  
太平洋セメント株式会社 細川佳史  
林建佑  
中居直人

1208. 分級フライアッシュのプレストレストコンクリートへの適用検討

三菱マテリアル株式会社 ○新里良輔  
木村祥平  
桜田道博

1209. ロータリーキルンにより加熱したフライアッシュの品質

三菱マテリアル株式会社 ○高橋智彦  
長谷川篤  
門田浩史  
山下牧生

1210. フライアッシュセメント中のフライアッシュ及びクリンカー鉱物の水和反応に及ぼすアルカノールアミンの影響

島根大学大学院 ○宋玄真  
島根大学 新大軌  
太平洋セメント株式会社 細川佳史  
GCPケミカルズ株式会社 宮川美穂

1211. フライアッシュ中の未燃炭素粒子を対象としたSEM-EDSによる粒子解析

太平洋セメント株式会社 ○野澤里渚子  
引田友幸  
馬場智矢  
細川佳史

〈昼休み 12:00~13:00〉

<b>第3会場</b>
-------------

**10：45～11：45 塩害・鋼材腐食**

〔研究発表 1306～1309〕

**1306. 非定常法電気泳動試験および実環境での長期暴露試験により得られた塩化物イオン拡散係数の比較**海上・港湾・航空技術研究所 ○山路 徹  
与那嶺 一 秀**1307. 実効拡散係数迅速測定のための電気泳動法についての電気化学的考察**北海道大学・国立環境研究所 ○市川 恒 樹  
国立環境研究所 山田 一 夫  
株式会社太平洋コンサルタント 芳賀 和 子  
小川 彰 一**1308. 栈橋上部工を対象とした塩化物イオン濃度および鉄筋のかぶりのばらつきに関する評価**電源開発株式会社 石川 嘉 崇  
東亜建設工業株式会社 ○濱田 洋 志  
網 野 貴 彦**1309. 長期間を経過した栈橋上部工コンクリートに関するフライアッシュ混和効果の検証**電源開発株式会社 石川 嘉 崇  
東亜建設工業株式会社 ○濱田 洋 志  
網 野 貴 彦

〈昼休み 11：45～13：00〉

5月8日(水)

第1・2会場

13:00~14:30 基調講演

C-S-Hの研究動向とその工学的重要性

名古屋大学 教授

東京大学 教授

丸山 一平氏

〈休憩 14:30~14:45〉

14:45~15:45 C-S-Hの長期安定性

[研究発表 1111~1114]

1111. セメント硬化体における熱履歴に伴うトバモライト生成条件に関する検討

原子力環境整備促進・資金管理センター ○林 大介  
株式会社太平洋コンサルタント 根岸 久美  
原子力環境整備促進・資金管理センター 井田 雅也  
株式会社太平洋コンサルタント 芳賀 和子

\*1112. 拡張BET理論から得られる処女脱着性状に関する一考察

東北大学大学院 ○五十嵐 豪  
名古屋大学大学院 丸山 一平

1113. C-S-Hモデル分子とNa<sup>+</sup>イオン-水との相互作用の量子化学計算

北海道大学 田地川 浩人  
国立環境研究所 ○山田 一夫

1114. アルミ置換率がC-(A-)S-Hのアルカリイオン吸着に及ぼす影響

北海道大学大学院 ○久保田 凜太郎  
吉田 慧史  
Elakneswaran Yogarajah  
北海道大学 名和 豊春

〈休憩 15:45~16:00〉

## 第3会場

## 14:45~15:45 凍結融解

〔研究発表 1310~1313〕

## 1310. 凍害により水平ひび割れが発生した床版内部の温度変化

寒地土木研究所 ○林 田 宏

## 1311. 促進凍結融解試験の最低温度が低水セメント比コンクリートの破壊性状に及ぼす影響

北海道大学大学院 ○東 優太朗  
北 垣 亮 馬  
千 歩 修

## 1312. 乾湿繰返しで表面含浸材を塗布したコンクリートの凍結融解抵抗性に及ぼす影響に関する研究

住友大阪セメント株式会社 ○宮 蘭 雅 裕  
東京大学生産技術研究所 岸 利 治

## 1313. 凍結防止剤の種類および低温下における降温と昇温がスケーリング抵抗性に及ぼす影響

岩手大学大学院 ○田中館 悠 登  
岩手大学 羽 原 俊 祐

〈休憩 15:45~16:00〉



5月8日(水)

第1・2会場

16:00~17:00 C-S-Hの長期安定性

[研究発表 1115~1118]

1115. 表面錯体反応を用いたC-S-HとCs、Srの相互作用のモデル化

株式会社太平洋コンサルタント      ○富田 さゆり  
太平洋セメント株式会社      細川 佳史  
株式会社太平洋コンサルタント      芳賀 和子  
国立環境研究所      山田 一夫

1116. Fundamental study on C-S-H formation by an interaction between Portlandite and Albite

Nagoya University      ○Tsunekawa Koki  
Rymes Jiri  
Kurihara Ryo  
Maruyama Ippei

1117. Quantification of two types of C-S-H in the Portland cement paste affected by cement Blaine value

Nagoya University      ○Kurihara Ryo  
Sugimoto Hiroki  
Maruyama ippei

1118. 骨材のセメント水和に与える化学的作用に関する研究

株式会社太平洋コンサルタント      ○藏 永 萌  
富田 さゆり  
蛭名 みなみ  
本合 弘 樹

(終了 17:00)

<b>第3会場</b>
-------------

**16:00~17:00 流動性、高流動コンクリート**

〔研究発表 1314~1317〕

**1314. AIによるコンクリートの練混ぜ画像を用いたスラン  
プ予測技術の研究**

太平洋セメント株式会社	○早野博幸 工藤正智
-------------	---------------

**1315. MPS法による高流動コンクリートのフローシミュ  
レーション**

琉球大学	○山田義智 東舟道裕亮
琉球大学大学院 株式会社フローリック	比嘉善希 平野修也

**1316. 各種重量骨材を用いた高流動コンクリートの性状に  
関する検討**

住友大阪セメント株式会社	○中島有一 小田部裕一
--------------	----------------

**1317. AIによる高流動コンクリートの材料分離判定システ  
ムの開発に関する基礎研究**

建築研究所	○三島直生 鹿毛忠継
琉球大学	山田義智 崎原康平

(終了 17:00)

5月9日(木)

第1会場

9:15~10:30 環境・リサイクル

[研究発表 2101~2105]

2101. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その6) 構造物のライフサイクルを考慮したLIME3による評価

株式会社トクヤマ	○新	見	龍	男
太平洋セメント株式会社	桐	野	裕	介
株式会社トクヤマ	加	藤	弘	義
広島大学大学院	河	合	研	至

2102. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その7) 構造物のライフサイクルを考慮した廃棄物指標による評価

株式会社トクヤマ	○新	見	龍	男
太平洋セメント株式会社	桐	野	裕	介
株式会社トクヤマ	茶	林	敬	司
広島大学大学院	河	合	研	至

\*2103. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その8) 重み付けの相違が各種セメントの指標値に及ぼす影響

広島大学大学院	○柴	崎	悠	吾
太平洋セメント株式会社	河	合	研	至
株式会社トクヤマ	新	見	龍	男

\*2104. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その9) 重み付けの相違に伴う指標値の産業間での比較

広島大学大学院	○柴	崎	悠	吾
太平洋セメント株式会社	河	合	研	至
株式会社トクヤマ	星	野	清	一
	茶	林	敬	司

2105. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その10) 各国の環境条件を反映したセメントの評価

太平洋セメント株式会社	○桐	野	裕	介
	星	野	清	一
広島大学大学院	河	合	研	至
東京都市大学	伊	坪	徳	宏

<休憩 10:30~10:45>

第2会場

9:15~10:30 特殊コンクリート

[研究発表 2201~2205]

2201. ジオポリマーの圧縮強度に与える養生と配合の影響

岡山大学大学院	○王			亮
	藤	井	隆	史
	綾	野	克	紀

2202. ラテックス改質超速硬コンクリートを用いたRCはりの曲げ性状に関する基礎的研究

宮崎大学	○原			将	太
前田建設工業株式会社	猪	野	泰	成	
宮崎大学	李		春	鶴	
ショーボンド建設株式会社	郭		度	連	

2203. PCはりと同じのコンクリート配合で作製したリング拘束供試体の加熱試験による爆裂性状の検討

群馬大学	○池	谷	拓	由
株式会社ピーエス三菱	藤	本	謙	太
群馬大学大学院	小	澤	満	津
			雄	

2204. 火災時における各種繊維を混入した高強度コンクリートの爆裂性状に与える材齢の影響

群馬大学	○祐	川	真	紀
	小	澤	満	津
	赤	坂	春	風
太平洋マテリアル株式会社	杉	野	雄	亮

2205. 小粒径牡蠣殻ポーラスコンクリートの基礎および緑化性能

呉工業高等専門学校	○堀	口		至
	鍋	島	美	咲
	三	村	陽	一

<休憩 10:30~10:45>

## 第3会場

## 9:15~10:30 中性化、ASR

〔研究発表 2301~2305〕

2301. 高炉スラグ微粉末による水和生成物量の違いが炭酸  
加速度に与える影響

芝浦工業大学大学院	○荒	木	萌
芝浦工業大学	落	合	ひ
芝浦工業大学大学院	中	村	絢
芝浦工業大学	伊代田	岳	史

2302. 既存鉄筋コンクリート構造物を対象にした表面吸水  
試験と中性化の関係

九州産業大学大学院	○盧	薇	迪
九州産業大学	白	川	敏
北九州市立大学	小山田	英	弘
株式会社間瀬コンサルタント	久岡	謙	悟

2303. 蒸気養生コンクリートの実環境における中性化抵抗  
性に関する検討

長崎大学大学院	○中	山	大
	佐々木	謙	二
	原	田	哲
			夫

2304. ASR促進試験における促進条件がアルカリシリカゲ  
ルおよび膨張共同に及ぼす影響

九州大学大学院	○俵積田	新	也
国立環境研究所	山	田	一
東北大学大学院	五十嵐	豪	
九州大学大学院	佐	川	康
			貴

2305. アルカリシリカ反応による膨張が生じたコンクリ  
ートの力学性能の継時変化に関する実験的検討

東京大学大学院	○高	橋	佑
	岡	野	佑
			亮

〈休憩 10:30~10:45〉

5月9日(木)

第1会場

10:45~12:00 環境・リサイクル、製造技術

[研究発表 2106~2110]

2106. ロータリーキルンを用いた廃棄物多量使用型の人工骨材の製造と細骨材への適用性に関する研究

太平洋セメント株式会社 ○林 建 佑  
細 川 佳 史  
中 居 直 人  
久 田 真

2107. 鉱物組成の異なるクリンカーを細骨材として使用したモルタルの圧縮強度に関する検討

東北大学 ○石川原 光太郎  
宮 本 慎太郎  
皆 川 浩  
太平洋セメント株式会社 林 建 佑

2108. タンクリーチング試験による石炭灰混合材料のホウ素溶出特性評価

電力中央研究所 ○大 塚 拓  
東京大学大学院 刈 谷 郁 海  
電力中央研究所 井野場 誠 治  
東京大学大学院 石 田 哲 也

2109. 再生セメント製造時の処理時間および乾燥温度がモルタルの強度に与える影響

芝浦工業大学 ○宮 崎 幹 太  
三和石産株式会社 大 川 憲 史  
芝浦工業大学 伊代田 岳 史

2110. 焼却灰の水洗脱塩・セメント資源化技術

太平洋セメント株式会社 ○平 前 太 基  
新 島 辰 慶 隣  
寺 崎 淳 展  
一

〈昼休み 12:00~13:30〉

第2会場

10:45~12:00 コンクリート舗装

[研究発表 2206~2210]

2206. 長期供用されたコンクリート舗装の路面性状調査とすべり抵抗に関する一考察

住友大阪セメント株式会社 ○遠 藤 大 樹  
安 久 憲 一  
横 田 慎 夫  
鹿島道路株式会社 横 久 利 良  
阪神高速技術株式会社

2207. 長期供用されたコンクリート舗装の表面性状とすべり抵抗性回復に関する検討

鹿島道路株式会社 鶴 田 弾  
○横 田 慎 也  
住友大阪セメント株式会社 遠 藤 大 樹  
阪神高速技術株式会社 久 利 良 夫

2208. 石灰石骨材を使用したコンクリート舗装の拘束応力に関する研究

三菱マテリアル株式会社 ○木 村 祥 平  
桜 田 道 博  
森 田 浩 一 郎

2209. 1DAY PAVEのすべり抵抗性及び持続性に関する検討—粗面仕上げ状況の異なる路面について—

セメント協会 ○瀧 波 勇 人  
泉 尾 英 文  
土木研究所 岩 永 真 和  
内 田 雅 隆

2210. 鉄筋メッシュパネルを用いた連続鉄筋コンクリート舗装の曲げ疲労実験

山口大学大学院 ○大 西 隆 太 郎  
株式会社藤崎商会 片 山 典 信  
上 野 剛 尚  
吉 武 勇

〈昼休み 12:00~13:30〉

## 第3会場

10:45~11:00 委員会報告  
セメント系固化材技術専門委員会

11:00~12:30 セメント系固化材

[研究発表 2306~2311]

2306. セメント系安定処理粘土の力学特性——軸圧縮試験と割裂試験による物性値——

日本大学大学院 ○近 藤 壮一郎  
日本大学 山 田 雅 一  
道 明 裕 毅

2307. セメント系固化処理土の強度および反応性状に及ぼす粘土成分および海水の影響

新潟大学 ○猪 齋 匠  
東亜建設工業株式会社 濱 田 洋 志  
新潟大学 佐 伯 竜 彦

2308. セメント系固化材をスラリー添加した改良土の膨張特性

住友大阪セメント株式会社 ○植 田 竜 也  
吉 田 雅 彦  
佐 藤 貴 宣

\*2309. 火山灰質土のセメント改良におけるセメント系固化材の強度特性と水和反応特性に関する基礎的検討

東京大学大学院 ○瀬 川 出  
高 橋 佑 弥

2310. セメント系安定処理粘土の力学特性——初期せん断弾性係数の拘束圧依存性——

日本大学 ○陳 建 国  
山 田 雅 一  
道 明 裕 毅  
日本大学大学院 近 藤 壮一郎

2311. セメント系安定処理砂の力学特性——三軸圧縮強度の破壊規準の適合性——

日本大学 山 田 雅 一  
○矢田部 瑛 平  
道 明 裕 毅  
日本大学大学院 近 藤 壮一郎

## 第1会場

13:30~15:00 セメント協会 会長挨拶  
論文賞表彰式  
論文賞受賞者記念講演

〈休憩 15:00~15:30〉

15:30~17:00 特別講演

国難級の危機を乗り越えるインフラ整備

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石 久和 氏

(終了 12:30)

5月10日(金)

## 第1会場

### 9:15~10:30 混合材、セメント系補修材

[研究発表 3101~3105]

#### 3101. 高炉スラグ微粉末の反応に及ぼす硬化促進剤の影響

北海道大学大学院 ○胡桃澤 清 文

#### 3102. 亜硝酸カルシウムを添加した高炉スラグの水和反応に及ぼす影響

島根大学大学院 ○大崎 修也  
島根大学 新大軌  
島根大学大学院 宋玄眞  
日産化学株式会社 須藤 裕司

#### 3103. セシウム吸着ゼオライトのセメント固化技術に向けたゼオライト混合固化体の強度特性評価

八戸工業高等専門学校 ○今淵 敦史  
庭瀬 一 仁

#### 3104. 微粉末による耐酸性セメント系材料の初期強度および耐硫酸性の改善

株式会社デイ・シー 藤原 了  
○小菅 太朗  
宇都宮大学 藤原 信和  
藤原 浩 己

#### 3105. 無機系注入式あと施工アンカーの物性と付着強度

住友大阪セメント株式会社 ○田村 努  
千葉工業大学 中野 克彦  
住友大阪セメント株式会社 安藤 重孝  
兼 吉 孝 征

<休憩 10:30~10:45>

## 第2会場

### 9:15~10:30 セメント、モルタルの性質と物性

[研究発表 3201~3205]

#### 3201. 粉砕助剤が低温焼成型セメントに及ぼす影響

株式会社トクヤマ ○森茶 明  
林 敬司  
関 卓哉  
加 藤 弘 義

#### 3202. 保管環境がセメントの品質に及ぼす影響

太平洋セメント株式会社 ○中川 裕太  
黒内 大俊  
平 尾 一郎  
宙

#### 3203. クリンカーの冷却速度がセメントの水和熱に及ぼす影響

太平洋セメント株式会社 ○馬場 智矢  
野澤 里渚子  
引田 友幸  
細川 佳史

#### 3204. Mgおよびアルカリ添加型トバモライトの生成に及ぼす乾燥条件の影響

新潟大学大学院 ○加藤 福将  
新潟大学 斎藤 豪  
佐 伯 竜 彦

#### 3205. トバモライトの生成および結晶構造にMgやAlが及ぼす影響

新潟大学 ○三森 耀介  
斎藤 豪  
新潟大学大学院 加藤 福将  
新潟大学 佐 伯 竜 彦

<休憩 10:30~10:45>

## 第3会場

### 9:00~10:30 セメント系新材料

[研究発表 3301~3306]

#### 3301. 少量混合成分を10%含む高C<sub>3</sub>Aセメントの圧縮強さに及ぼすベースセメントの仕様の影響

三菱マテリアル株式会社 ○門 田 浩 史  
針 貝 貴 浩  
高 橋 智 彦  
山 下 牧 生

#### 3302. 少量混合成分とアルミネート相を増量したセメントの反応性

東京工業大学 ○松 澤 一 輝  
植 田 由紀子  
相 川 豊  
坂 井 悦 郎

#### 3303. 少量混合成分とアルミネート相を増量したセメントの品質評価

太平洋セメント株式会社 ○中 口 歩 香  
黒 川 大 亮  
内 田 俊一郎  
平 尾 宙

#### 3304. 少量混合成分とアルミネート相を増量したセメントのコンクリート評価

デンカ株式会社 ○田 原 和 司  
寺 内 貴 史  
森 泰一郎  
飯 田 達 郎

#### 3305. CaCl<sub>2</sub>を用いた共沈法によるC-S-Hの合成とセメントの再生サイクルに関する検討

新潟大学大学院 ○鈴 木 一 帆  
新潟大学 斎 藤 豪  
新潟大学大学院 井 川 義 貴  
太平洋セメント株式会社 細 川 佳 史

#### 3306. セメント-ケイ石-消石灰系におけるゾノライトの水熱合成

島根大学 ○森 本 湧 太  
新 大 軌  
住友金属鉱山シボレックス株式会社 今 澤 公 一  
堀 口 昌 利

〈休憩 10:30~10:45〉



5月10日(金)

第1会場

10:45~12:00 混合セメント

[研究発表 3106~3110]

3106. 高C<sub>3</sub>Sセメント-フライアッシュ-石灰石微粉末系の長期水和

太平洋セメント株式会社 ○久我龍一郎  
東京工業大学 梅津真見子  
株式会社デイ・シイ 二戸信和  
東京工業大学 坂井悦郎

3107. 早強ポルトランドセメントと高炉セメントB種を混合した試製高炉セメントA種の強度性状

株式会社トクヤマ ○吉本慎吾  
新見龍男  
加藤弘義

3108. 粉末度の異なる高炉スラグを併用した高炉セメントの影響

島根大学大学院 ○宋玄真  
島根大学 新大軌  
株式会社デイ・シイ 谷田貝敦  
二戸信和

3109. 高炉セメントを用いた硬化体の還元性について

日鉄住金高炉セメント株式会社 ○平本真也  
大塚勇介  
植村幸一郎  
檀康弘

3110. 凍害抑制剤を用いた高炉セメント硬化体の初期強度改善

北海道大学大学院 ○山田優也  
胡桃澤清文

<昼休み 12:00~13:15>

第2会場

10:45~12:15 セメント、モルタルの性質と物性

[研究発表 3206~3211]

3206. 結合水量と真密度の関係の定式化とその検証

東京大学大学院 ○田中俊成  
東京大学生産技術研究所 酒井雄也

3207. Preliminary experimental result of visualization and analysis of capillary pore water flow in mortars

Nagoya University ○Fujimaki Tetsuya  
Maruyama ippei  
Taiheiyo Consultant Co.,Ltd. Matsuda Akira  
Shibuya Kazutoshi

3208. モノカーボネート存在下におけるC-S-Hの生成・共存がエトリンサイト二次生成に及ぼす影響

新潟大学大学院 品川英斗  
新潟大学 ○齋藤賢之介  
山梨大学大学院 佐藤伯竜  
新潟大学 佐伯竜彦

\*3209. セメント硬化体の炭酸化収縮に及ぼす相対湿度の影響に関する研究

琉球大学 ○須田裕哉  
富山 山潤  
新潟大学 斎藤伯竜  
佐伯竜彦

3210. 火害を受けたコンクリートの炭酸化メカニズム解明に向けた検討

島根大学大学院 ○八代大生  
島根大学 新大軌  
日本建築総合試験所 吉田夏樹  
奥村勇馬

3211. 50年経過したアルミナセメントコンクリートの耐久性

デンカ株式会社 ○鳥崎大樹  
森川幸男  
坂井悦郎  
東京工業大学 坂井悦郎

<昼休み 12:15~13:15>

## 第3会場

## 10:45~12:15 コンクリートの診断・補修

〔研究発表 3307~3312〕

## 3307. 弾性波トモグラフィ法によるコンクリートの内部探査に関する研究 (波動伝搬特性に及ぼす介在物の影響)

愛知工業大学 ○山 田 和 夫  
 愛知工業大学大学院 瀬 古 繁 喜  
 金 森 藏 司  
 関 俊 力

## 3308. 分極抵抗法による腐食判定に関する基礎的研究

福岡大学大学院 ○大 塚 柚 人  
 福岡大学 樋 原 弘 貴  
 福岡大学大学院 添 田 政 司  
 児 島 あかり

## 3309. 光ファイバセンサを用いたタイルの剥離検知に関する研究

太平洋セメント株式会社 ○関 根 麻里子  
 城 出 真 弥  
 広島大学大学院 寺 本 篤 史  
 太平洋セメント株式会社 早 野 博 幸

## 3310. 凍害劣化程度の異なるコンクリートおよび断面修復材の温度変化によるひずみ変化

立命館大学 ○金 倫 美  
 北海道大学大学院 千 歩 修  
 谷 口 誠  
 立命館大学 福 山 智 子

## 3311. 高温加熱および塩水浸せきしたRC部材の曲げ破壊性状と耐久性評価

群馬大学 ○阿久津 裕 亮  
 小 澤 満津雄  
 山 本 哲  
 八戸工業大学 迫 井 裕 樹

## 3312. 金属溶射を利用した流電陽極方式電気防食工法の実構造物への適用

住友大阪セメント株式会社 ○山 本 誠  
 株式会社富士技建 武 藤 和 好  
 西日本高速道路株式会社 山 口 和 宏  
 宮 田 弘 和

〈昼休み 12:15~13:15〉

5月10日(金)

## 第1会場

### 13:15~14:30 混合セメント

[研究発表 3111~3115]

#### 3111. 高炉スラグ高含有セメントの水和に及ぼす亜硝酸カルシウムとアルカノールアミンの影響

株式会社アイ・シー  
東京工業大学

○二 戸 信 和  
植 田 由紀子  
相 川 豊  
坂 井 悦 郎

#### 3112. 高炉スラグ高含有セメントのマス養生下での体積変化と水和挙動

前橋工科大学

○佐 川 孝 広  
西 澤 大 和

#### 3113. 高炉セメントの強度発現に及ぼす各種促進剤の影響

前橋工科大学

○勝 野 太 市  
佐 川 孝 広

#### 3114. 線分析で評価したフライアッシュの内部反応相厚さとボゾラン反応率との関係

太平洋セメント株式会社  
電源開発株式会社  
太平洋セメント株式会社

○中 居 直 人  
石 川 嘉 崇  
林 建 佑  
細 川 佳 史

#### 3115. 蒸気養生の最高温度と基材セメントの特性がフライアッシュセメントの強度発現に及ぼす影響

太平洋セメント株式会社

○多 田 真 人  
久 我 龍 一 郎  
内 田 俊 一 郎  
平 尾 宙

## 第2会場

### 13:15~14:45 膨張・収縮、ひび割れ、クリープ、物性一般

[研究発表 3212~3217]

#### 3212. 早強セメントを使用したコンクリートにおけるDEFひび割れ発生有無の評価

住友大阪セメント株式会社

○福 田 道 也  
小 田 部 裕 一

#### 3213. 骨材の表面水がコンクリートの膨張量に及ぼす影響

住友大阪セメント株式会社

○谷 口 諒  
小 田 部 裕 一  
亀 島 博 之

#### 3214. 鉄筋の配置が異なるT形断面CPC梁の膨張分布

デンカ株式会社  
持続可能な社会基盤研究会  
宮崎大学  
デンカ株式会社

○栖 原 健 太 郎  
辻 幸 和  
李 春 鶴  
小 竹 弘 寿

#### 3215. 各種セメントを用いたコンクリートの湿気移動速度に関する検討

太平洋セメント株式会社  
TAIHEIYO SINGAPORE PTE.LTD.  
名古屋大学

○大 野 拓 也  
三 谷 裕 二  
丸 山 一 平

#### 3216. 自己治癒効果を表す評価指標に関する検討

東京エスオーシー株式会社  
住友大阪セメント株式会社  
東京大学生産技術研究所

○齋 藤 尚  
小 田 部 裕 一  
岸 利 治

#### 3217. スラグ系細骨材を用いたコンクリートの圧縮クリープに関する基礎的研究

東京理科大学大学院  
東京理科大学  
株式会社浅沼組

○原 品 武  
今 本 啓 一  
清 原 千 鶴  
山 崎 順 二

<休憩 14:30~15:00>

(休憩 14:45~15:00)

## 第3会場

## 13:15~14:45 耐久性一般

〔研究発表 3313~3318〕

## 3313. DEF膨張に対する高炉スラグ微粉末の長期抑制効果

海上・港湾・航空技術研究所	○川 端 雄一郎
株式会社太平洋コンサルタント	小 川 彰 一
	高 橋 晴 香
東京都立産業技術研究センター	渡 邊 禎 之

## 3314. DEFの生じたコンクリートに対する残存膨張性の評価方法の検討

海上・港湾・航空技術研究所	○与那嶺 一 秀
株式会社太平洋コンサルタント	川 端 雄一郎
	小 川 彰 一
	柴 田 真 仁

## 3315. 各種混合材置換したペースト試験体を用いたDEF抑制効果の検討

株式会社太平洋コンサルタント	○小 川 彰 一
東京都立産業技術研究センター	藏 永 萌
海上・港湾・航空技術研究所	渡 邊 禎 之
	川 端 雄一郎

## 3316. 非破壊CT-XRD連成法を用いた高温を受けたモルタルの再養生の影響に関する考察

北海道大学大学院	○高 橋 駿 人
	千 本 陽 生
	三 上 拓 也
	杉 山 隆 文

## 3317. 炭酸化したセメント硬化体の水分浸透性状の相違と空隙構造変化に関する考察

芝浦工業大学大学院	○水 野 博 貴
芝浦工業大学	伊代田 岳 史

## 3318. 異なるpH調整法を用いた鉛の吸着特性

広島大学大学院	○西 脇 拓 巳
	山 崎 真 治
	小 川 由 布 子
	河 合 研 至

〈終了 14:45〉

5月10日(金)

## 第1会場

### 15:00~16:00 コンクリートの施工、コンクリート製品

[研究発表 3116~3119]

#### 3116. アジテータ車におけるシリカフェームスラリー添加方法に関する基礎的検討

株式会社福田組  
新潟大学

○井 貝 武 史  
佐 伯 竜 彦  
斎 藤 豪  
RIDHWAN ANAS

#### 3117. 振動締固めが材料フレッシュコンクリートの材料分離に与える影響

東京理科大学大学院  
東京理科大学  
株式会社フローリック

○西 村 和 朗  
古 川 翔 太  
加 藤 佳 孝  
西 祐 祐 宣

#### 3118. 脱型時積算温度がコンクリートの明度に及ぼす影響

住友大阪セメント株式会社  
東京エスオーシー株式会社  
株式会社ホクエツ北陸  
住友大阪セメント株式会社

○中 上 明 久  
齋 藤 尚  
橋 場 正 明  
上 原 伸 郎

#### 3119. 蒸気養生製品の温度解析における発熱特性の与え方に関する一考察

住友大阪セメント株式会社

○小田部 裕 一  
西 山 沙 友 里

## 第2会場

### 15:00~15:45 化学的浸食・溶脱

[研究発表 3218~3220]

#### 3218. 深海の高水圧環境がセメントの水和物組成に与える影響

宇部興産株式会社

○小 林 真 理  
高 橋 恵 輔

#### 3219. モノカーボネートの添加量や温度および構成鉱物の違いがエトリンサイト生成に及ぼす影響

新潟大学  
新潟大学大学院  
新潟大学

○林 齋 良 祐  
品 藤 川 豪 斗  
佐 伯 竜 彦

#### 3220. 硫酸ナトリウムの作用がセメント硬化体における酸素移動性状に及ぼす影響

山梨大学大学院  
山梨大学

○OTSUKA SAKATA HERLY NICOLAS  
佐 藤 賢 之 介  
齋 藤 成 彦

(終了 15:45)

## 第3会場

\*

\*

\*

(終了 16:00)

## ● 特別講演 ●

5月9日（木）15：30～17：00

### 国難級の危機を乗り越えるインフラ整備

一般社団法人 全日本建設技術協会会長 大石久和氏

## ● 基調講演 ●

5月8日（水）13：00～14：30

### C-S-Hの研究動向とその工学的重要性

名古屋大学 教授  
東京大学 教授 丸山一平氏

## ● 委員会報告 ●

5月9日（木）10：45～11：00

### セメント系固化材技術専門委員会

—最近の取組みについて—

## 懇談会のご案内

第73回セメント技術大会の開催に当たり、参加各位の交流を目的に以下のとおり懇談会を開催いたします。  
発表者・共同研究者および一般聴講者の方々にも広くご参加をいただきたくご案内申し上げます。

日時：5月9日（木）17時15分～18時45分

場所：ホテルメトロポリタン（3階富士）

参加費：無料

参加方法：大会期間中に聴講の受付をされた方は、そのままご来場ください。

懇談会のみ参加を希望される方は、当日の参加受付をお願いします。

問合せ先：セメント協会 研究所 技術情報グループ

☎03-3914-2692 E-mail：jca\_event@jcassoc.or.jp

# ホテルメトロポリタン案内図

東京都豊島区西池袋1-6-1 ☎03-3980-1111

📍会場案内図 ※受付は1・2日目と3日目で場所が変わりますのでご注意ください。

📍交通のご案内

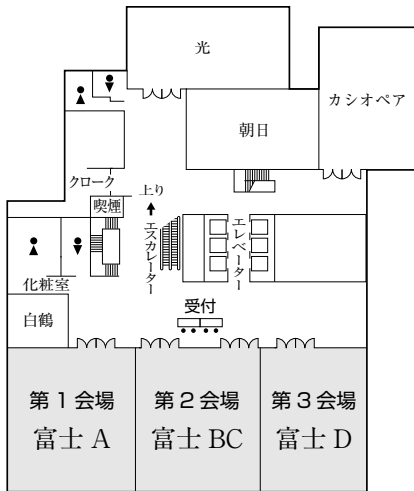
1・2日目

【5月8日(水)・9日(木)】

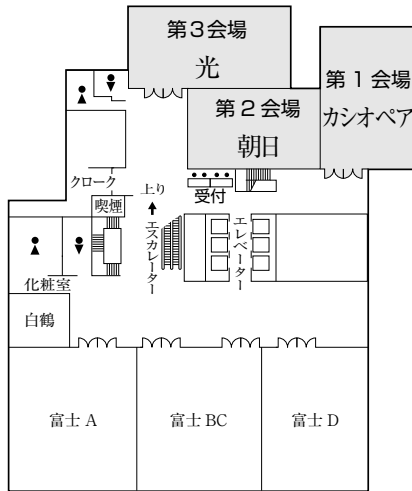
3日目

【5月10日(金)】

3F

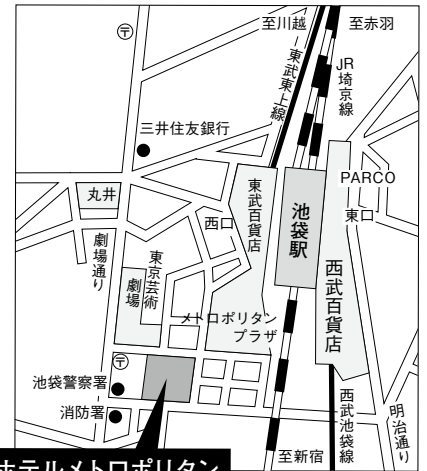


3F



池袋駅西口から徒歩約3分

- JR 山手線, 埼京線
- 東京メトロ 丸の内線, 有楽町線, 副都心線
- 西武 池袋線
- 東武 東上線



ホテルメトロポリタン

## セメント・コンクリート論文集 Vol.73 (2019年度) 論文募集のご案内

セメント協会では、セメント・コンクリート論文集Vol.73に掲載するための論文を募集いたします。「セメント・コンクリート論文集投稿要領」および「セメント・コンクリート論文集原稿執筆要領」をご高覧のうえ、ふるってご応募ください。

### 1. 論文の申込み

#### 1.1 論文の申込み

セメント協会ホームページ [http://www.jcassoc.or.jp(イベント・募集>募集>セメント・コンクリート論文集)]から申込書ファイル (Microsoft Excel形式) をダウンロードし、必要事項すべてを明記のうえ、締切日までに「5. 提出および問合せ先 (事務局)」にE-mailの添付ファイルとして送信してください。

#### 1.2 提出原稿 査読のための原稿4部 (「原稿執筆要領」を参照ください)

### 2. 論文投稿受付期間 2019年4月1日(月) ~ 5月31日(金) 17時まで

### 3. 投稿のための費用 無料

### 4. セメント協会論文賞

セメント・コンクリート論文集 (過去2ヶ年<2冊>) に掲載された論文の中から特に優秀と認めた論文に対し、毎年度『セメント協会論文賞』を授与いたします。

### 5. 提出および問合せ先 (事務局)

〒114-0003 東京都北区豊島4丁目17番33号 一般社団法人セメント協会 研究所 技術情報グループ

☎03-3914-2692 E-mail : jca\_event@jcassoc.or.jp